

令和6年度第1回社会教育委員会議 次第

日 時：令和6年8月20日（火）10時00分から

場 所：札幌市教育委員会6階 A・B会議室

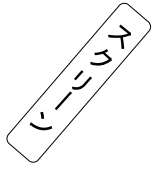
- 1 新任委員の紹介
- 2 事務局の紹介
- 3 協議事項
今年度の社会教育委員会議の協議テーマについて
- 4 連絡事項

【配布資料】

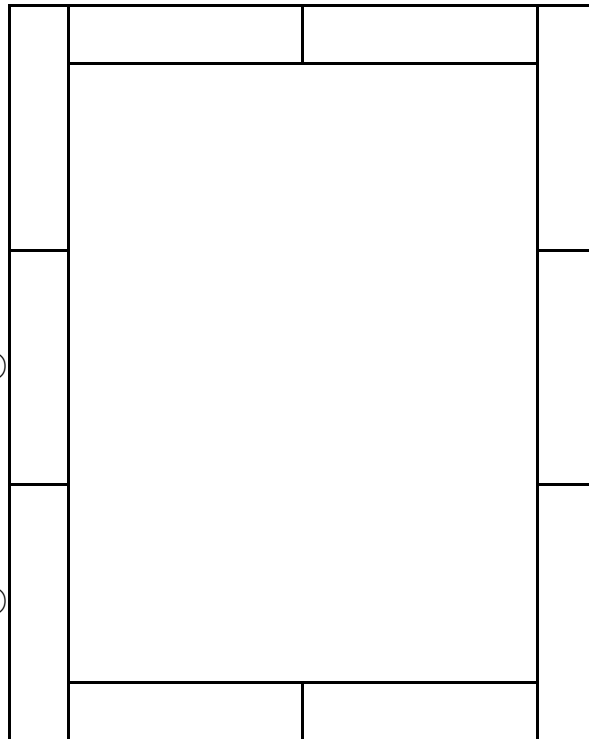
- ・ 座席表
- ・ 社会教育委員名簿
- ・ 今年度の社会教育委員会議の協議テーマについて・・・・・・資料1
- ・ 札幌市の進める地域学校協働活動推進事業について・・・・・・資料2

令和6年度第1回社会教育委員会議 座席表

令和6年8月20日(火)
教育委員会 6階AB会議室



議長 (北海道科学大学 教授) 副議長 (北星学園大学 教授)
◎ 出口 寿久 ◎ 片岡 徹



◎ 白井 栄三
(前 北海道教育大学
岩見沢校 非常勤講師)

小田島 潔恵 ◎
(札幌市立藤野中学校
校長)

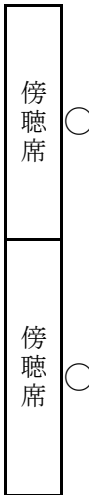
◎ 安田 香織
(NPO法人 子どもの未来・にじ色プレイス 代表
理事)

小野寺 拓 ◎
(公募委員)

◎ 今泉 明子
(社会福祉法人常徳会興
正子ども家庭支援セン
ター 副センター長)

◎ 高原 周作 ◎ 松岡 洋一
(札幌市PTA協議会
会長) (公募委員)

(※敬称略)



○ ○ ○ ○
井上 生涯学習部長 大瀬 生涯学習推進課長 釜石 社会教育担当係長 中原 社会教育担当



○ ○ ○
橋本 野上 大山

札幌市社会教育委員名簿

(任期 令和5年7月1日～令和7年6月30日)

令和6年7月8日現在

氏名	区分	所属団体等
おだしま ゆきえ 小田島 潔恵	学校教育関係者	札幌市中学校長会 (札幌市立藤野中学校 校長)
おのでら たく 小野寺 拓	社会教育関係者	公募委員
たかはら しゅうさく 高原 周作	〃	札幌市PTA協議会 会長
まつおか よういち 松岡 洋一	〃	公募委員
いまいずみ めいこ 今泉 明子	家庭教育関係者	社会福祉法人常德会興正子ども家庭支援センター 副センター長
やすだ かおり 安田 香織	〃	NPO法人 子どもの未来・にじ色プレイス 代表理事
うすい えいぞう 臼井 栄三	学識経験者	前 北海道教育大学 岩見沢校 非常勤講師
さかき ひとみ 榊 ひとみ	〃	札幌学院大学 人文学部こども発達学科 准教授
かたおか とおる 片岡 徹	〃	北星学園大学 文学部 心理・応用コミュニケーション学科 教授
でぐち としひさ 出口 寿久	〃	北海道科学大学 全学共通教育部 教授

※区分順

テーマ案:「地域学校協働活動を通じた地域づくり」について

課題・背景

急激な社会環境の変化の中で、地域においては支え合いの希薄化・教育力の低下、家庭の孤立化などの課題が指摘され、学校においては、いじめや不登校など子どもを取り巻く問題が複雑化・困難化しており、社会総掛かりで対応することが求められており、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための組織的・継続的な仕組みが必要不可欠。

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進すること、その活動を推進する新たな体制として「地域学校協働本部」を全国的に整備すること(提言)

中央教育審議会(H27.12)「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)」

地域学校協働活動

地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、学校を含む地域全体で子どもたちの学びや成長を支える、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動。これらの活動を通して地域ぐるみで子どもを育てる環境を醸成する。
例: 休日の体験活動、放課後の学習支援、教育課程内で行う授業補助、キャリア教育、本の読み聞かせなど

「子ども」: 多様な学習・体験機会の提供

放課後の学習支援



児童、園児、地域が参加した
プレイパーク活動



地域人材によるキャリア教育



工作体験を通じた多世代交流



- 学校の中だけでは行えない「本物の経験」を通して、
- ・子どもの自己肯定感を高める(様々な大人との関わり)
 - ・子どもの価値観を広げる(様々な大人との出会い)
 - ・子どもの可能性、選択を広げる(様々な体験や活動の機会)

地域学校協働活動推進事業



「地域」: 「学校を核とした地域づくり」

「学校」: 働き方改革に資する取組

総合の学習: 商店街訪問



地域学校協働活動推進員が、地域について学ぶ授業で訪問する店舗や施設との連絡調整を担うなど、教員の負担軽減に寄与

参観懇談の時間: 昔遊び体験



学校として低学年の保護者懇談の際の子どもに預かりに苦慮。保護者から相談を受けるも教員は対応が困難。そのため、地域へ依頼し、保護者懇談の時間に活動を実施。子どもたちは地域に見守られながら活動に参加できたほか、保護者も安心して参観懇談に参加でき、教員の負担なく、学校の抱える課題解決を図れた

「地域学校協働活動が地域に与える効果として、どのようなことが期待できるか」

協議の進め方

地域学校協働活動は、「子ども」、「学校」、「地域」等に様々な効果をもたらすことが期待されています。本市においても、サッポロサタデースクール(地域学校協働活動推進事業の前身)から今に至るまで行われてきた、創意工夫のある様々な活動により、「子ども」、「学校」への具体的な効果をみることができました。

また、地域学校協働活動の実施においては、「地域」の皆様の参画を得ることが大変重要な要素である一方、事業を推進するうえでは、まだまだ「地域」に対する具体的な効果を啓発するには至っておりません。

そこで、今年度の社会教育委員会議では、「地域学校協働活動を通じた地域づくりについて」をテーマに、委員の皆様にも、それぞれの専門的な立場から「熟議」をとおして様々ご議論をいただき、最終的には、「地域学校協働活動が地域に与える効果として、どのようなことが期待できるか」ご意見を頂戴したいと考えております。

今回の熟議テーマ

地域学校協働活動のもたらす効果とは？

～各委員が持つイメージやそれぞれの経験などから想像したメリット～

※まずは、地域に限らず、子ども、家庭、学校など、対象は幅広く

スケジュール（予定）

第1回会議	8月20日	○協議テーマ：地域学校協働活動のもたらす効果とは？（熟議）
事業視察	9月～10月	地域学校協働活動推進事業の実際に活動している様子を視察 ※複数日程から参加可能な日を選択（任意参加） ※地域人材の係る様々な取組を視察候補として提案
第2回会議	11月	○協議テーマ：（仮）視察を踏まえて（熟議） ・その他：第3次札幌市生涯学習推進構想について
第3回会議	1月	○協議テーマ：（仮）地域に与える効果（熟議） ・その他：野外教育総合推進事業について報告（予定）
第4回会議	3月	○協議テーマ：（仮）まとめ ・その他：令和7年度教育費予算について

札幌市が進める 「地域学校協働活動」

令和6年度第1回社会教育委員会議




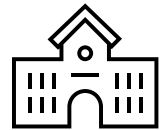

地域学校協働活動とは

地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、学校を含む地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、**地域と学校が相互にパートナーとなって連携・協働して行う様々な活動**

- ✓ 学校の教育課程内で行う授業補助、キャリア教育支援
- ✓ 放課後の学習支援、登下校の見守り
- ✓ 休日の教育活動・体験活動 など

課題解決に向けて～地域学校協働活動の必要性～

社会的な背景として・・・

-  ① 急激な社会の変化に伴い、学校や子どもを取り巻く課題が複雑化、多様化
-  ② 課題等に対応するべく学校の役割の拡大により、教員の業務量が増加
-  ③ 地域社会のつながりや支え合いの希薄化等により、地域の教育力が衰退している

- これからの時代を生き抜く力の育成
(学校だけでは得られない知識・経験・能力)
- 地域住民が自ら地域を創っていく
という「主体的な意識への転換」



社会的な教育基盤の構築等の観点から、学校と地域はパートナーとして相互に連携・協働していく必要があります、そのことを通じ、社会総掛かりでの教育の実現を図る

地域と学校がパートナーとして、共に子供を育て、共に地域を創るという理念に立ち、地域の教育力を向上し、持続可能な地域社会をつくる

札幌市における地域学校協働活動の取組

サッポロサタデースクール事業
(平成26年度～令和4年度)

地域の力を活用した休日の体験・学習活動



コミュニティ・スクールとの一体的な推進を目指し

実施日の
平日拡大

令和5年度より

地域学校協働活動推進事業

授業や放課後にも地域の力を活用可能に



+

学校、地域のより
一層の連携強化を図る

令和6年度
モデル実施



「札幌市地域学校協働活動推進員」の設置

事業の概要

子どもたちを対象に地域の力を生かした多様な学びや体験の機会を提供するとともに、活動を通じて地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援し、地域全体で子どもを育てる環境を醸成する。

・参加対象

地域学校協働本部を構成する学校の児童生徒、保護者や兄弟姉妹、地域住民等も可

・参加費 原則無料

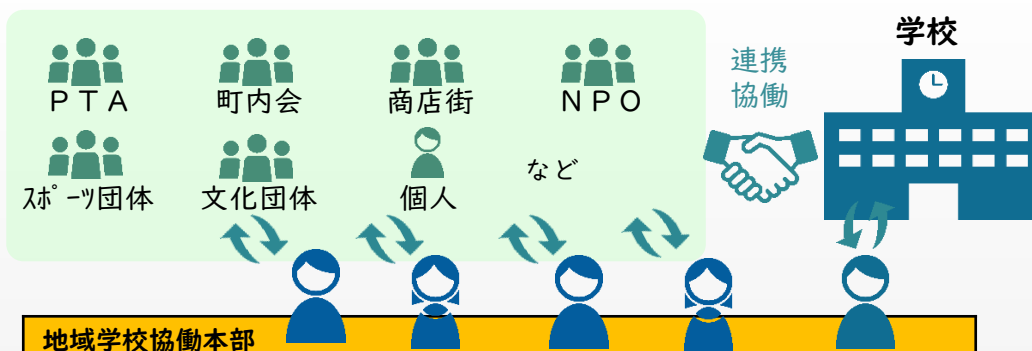
※食材、材料費等は実費相当額を徴収



教育委員会
生涯学習推進課

申請

運営費支払
運営支援



地域学校協働本部	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校周辺地域で子どもの育成やまちづくりに関わる人材 ● 学校教職員（地域連携担当など窓口になる職員） 	
主な構成	<ul style="list-style-type: none"> ●/● 代表者 1名<学校長もしくは地域人材> ● 地域学校協働活動推進員 1名以上<地域人材必須> (コーディネーター) <p>※学校教職員と地域人材双方の参画が必須</p>
業務	<p>活動の企画・調整・実施 講師確保・当日ボランティア（協力者）の募集など ※活動の企画・調整は推進員を中心に。講師は地域人材や企業・団体等</p>

体験活動

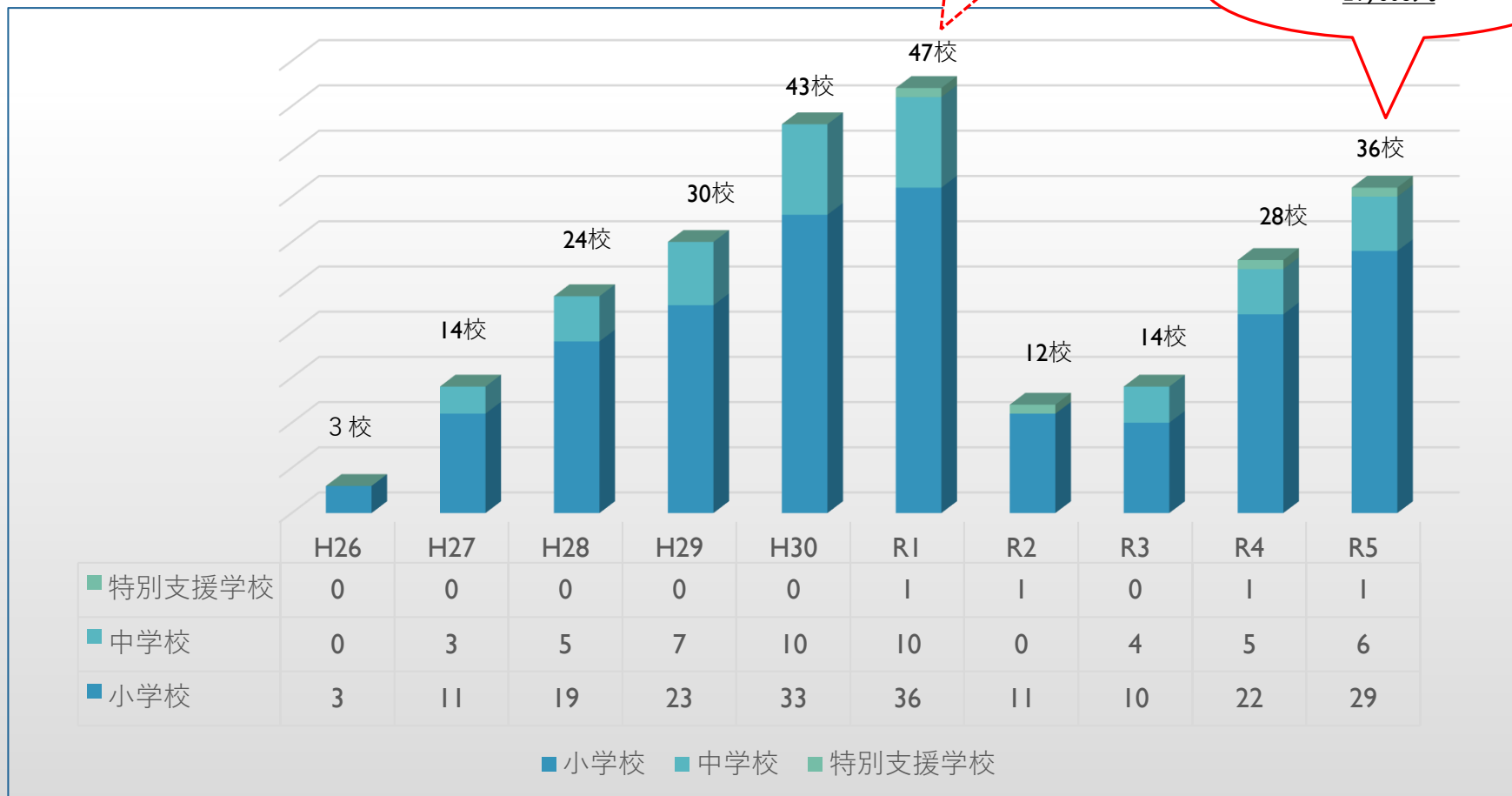
学習支援

体力・健康づくり

地域交流

学校支援に関する活動

各年度の実施校数





授業内

「しごとのゆめ時間」
6年生キャリア教育



「声の出し方レッスン」
3年生音楽の授業



「フロアカーリングでスポーツ体験」
特別支援学級



「地域安全マップづくり」
「商店街インタビュー」
2・3年生総合の学習の時間



放課後

「紙工作体験」
保護者懇談時に実施



「読み聞かせ」
開放図書館との連携



休日

「避難所地域防災訓練」
町内会、消防署等と連携



「夏休み宿題教室」
大学生の見守り



「ボールレク&教材園整備」
PTAとの連携



「工作活動」
運動会後の地域交流



「夏休みプレイパーク活動」
グラウンドを活用した地域交流





授業内

「地域で働く人に学ぶ」
2年生キャリア教育



「職業体験学習」
1年生総合的な学習の時間



「雪灯路制作」
小中一貫教育の活動



「3.11防災の日」
全学年参加型の活動



- ・ 地域人材を講師にした柔道教室
- ・ 地域の職場体験
- ・ 地域とともに災害時の避難等をシミュレーションする研修

放課後

「放課後学習サポート」
大学生と地域人材の支援



休日

「吹奏楽コンサート」
高校・中学・小学交流



「絵本と音楽の地域交流」
中学・小学・保護者・地域交流



・ 除雪ボランティアの講演 & 地域の除雪活動

・ 町内会と行う学校周辺の公園やや花壇等の清掃活動



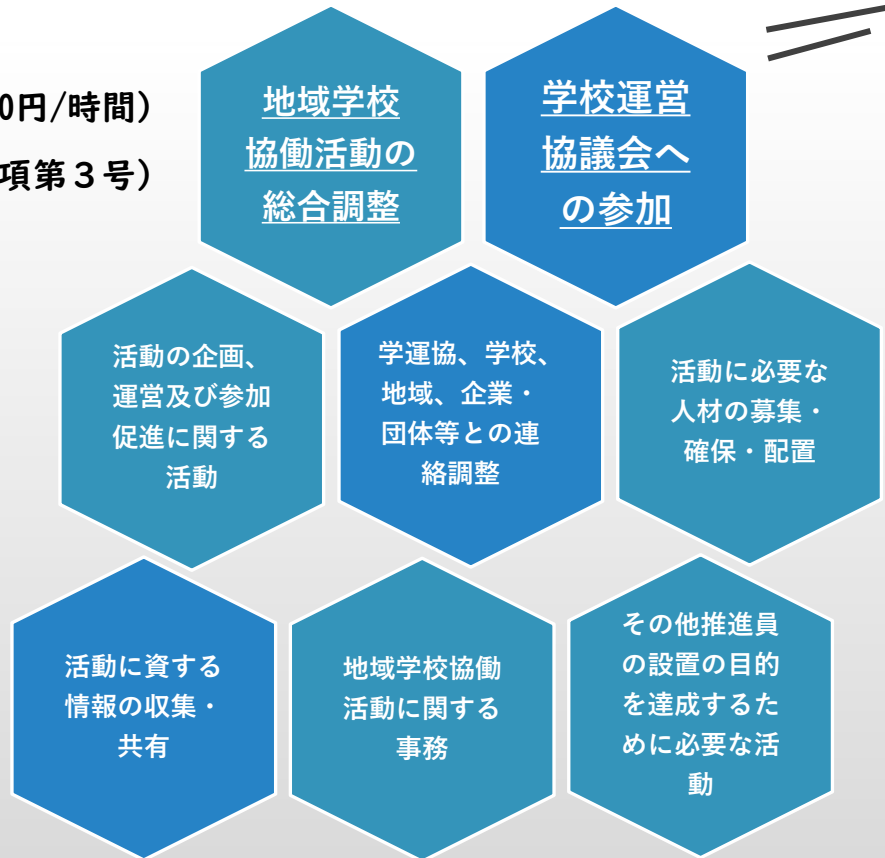
「実施可能な活動」は地域の参画を得て、学校と地域が協働して行う活動であれば幅広く対応可。
大事なのは、活動のねらいや目標を、学校と地域が共有したうえで実施すること

札幌市地域学校協働活動推進員

地域学校協働活動に関する事項につき、教育委員会の施策に協力して、地域住民等と学校との間の情報共有を図るとともに、地域学校協働活動の実施及び推進に寄与する活動を行う

- ✓ 学校の推薦により市教委が委嘱（社会教育法第9条の7）
⇒地域において社会的信望がある者でかつ、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者
- ✓ 原則、各学校を単位として一人配置（複数人も可）
- ✓ 活動時間に応じて市教委から謝金を毎月直接支払い（1,400円/時間）
- ✓ 学校運営協議会委員を兼任する（地教行法第47条の5第2項第3号）

法律に基づく明確な立場で活動を推進



令和6年度（モデル実施）：9校12名へ委嘱
推進員の主な属性：現・元PTA、おやじの会、学びのサポーター、開放司書、学校評議員、地域のNPO所属、元教員 など



3年生「地域安全マップづくり」

コロナも落ち着き、総合の学習を充実させたい⇒10数年ぶり？「地域安全マップづくり」復活

- 課題**
- 数年ぶりの開催のためノウハウがない・・・
 - 大きな道路に出るため大人の見守りが必要
 - グループごと引率者が欲しい
 - スクールガード実行委員会と日程かぶりそう
 - 教員だけでは足りない・・・



解決！！

- ✓ 地域のネットワークを生かした人集め
- ✓ チラシを作成してボランティア募集
- ✓ 地域の知見を生かした当日の運営協力

手稲中央小☆こども未来応援団
駒ヶ嶺推進員（元おやじの会会長）

